

議会報告会報告書

開催日時	令和5年11月10日（金）午後7時00分～午後8時40分		
開催場所	東黒部ふれあい会館（和室）		
委員会名	建設水道委員会		
出席議員	松本一孝委員長 松岡恒雄副委員長 小川朋子 田中正浩 野呂一男 濱口高志 中島清晴		
	司会進行者	（第1部）小川朋子 （第2部）松本一孝	
	報告者	松岡恒雄副委員長	
	記録者	濱口高志	
参加人数	第1部 11名 第2部 11名		
第2部形式	ワークショップ形式（グループ3班）		
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。		
委員長の所感	別紙のとおり。		

松阪市議会議長 坂口秀夫 様

令和 5 年 11 月 24 日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

建設水道委員会

委員長 松本 一孝

第1部用

【主な質疑応答・意見等】

問 モバイル建築とはどういうものか。

答 一条工務店から寄付された建物で、デイキャンプ場の近くに設置してある。
他市で災害発生時には、トレーラーに乗せ運ぶことができる。

問 説明資料（共通部分）の字が小さくて読めない。

答 次回から見直す。

問 中心市街地空家等解消リセット推進事業とはなにか。

答 中心市街地エリア170ha内の空家の流通を促進するための解体費の助成等である。

問 まちなか空家流通促進補助金の対象地は中心部だけか。

答 中山間地を除いた市内全域である。

問 まちなか空家流通促進補助金予算は都市計画税を使っているのか。

答 都市計画税は下水道等のインフラ整備に使われる。

第2部用

【テーマ：市街化調整区域における既存集落活性化について】

【開催形式】

ワークショップ形式（3班）

【意見等】

- ・竹上市長の公約に、「市街化調整区域に地区計画制度を利用して、誰でも家を建てられるようにします」とある。実現の方向性を望む。
- ・行政の方で可能性のある集落を示してほしい。
- ・若い人が来るのを歓迎する。
- ・市の中心部から東部地区へ嫁に来たが、東部地区は比較的空家が少ないと思う。
- ・農地の宅地化をもっと緩和してほしい。
- ・農振地域を緩和してほしい。
- ・市街化調整区域活性化のモデルを示してほしい。
- ・人口減少、戸数減少が進む中で、現実性のある制度とは考えにくい。
- ・地域ごとに状況が違うことから、地区計画制度が導入できる地域、逆に過疎化が進む地域には空家対策の強化等、地域に合った施策を求める。

【課題・問題点・疑問点】

- ・治安が悪くなるのではないか。
- ・空家対策を自治会任せでは困る。
- ・津波の影響でさらに人が減って地価が下がっていく。
- ・市からの情報が不親切。
- ・地区の合意形成（全員同意）等、ハードルが高すぎる。
- ・漕代は一部上水道が来てないので、火が発生したら全焼する。
- ・本制度を活用できる集落が東部地区内にあるのか疑問。
- ・田を埋めて家を建てられないので、子どもは出ていく。
- ・この制度に期限はあるのか。
- ・東部地区の特性として、公称町と自治会は一致していない。小さな集落の集まりである。
- ・地域のこの事業を主導するリーダーがいない。
- ・調整区域に家を建てた人は直近で年に何件あるのか。

【解決案】

- ・東部地区をSDGs（持続可能なまちづくり）のモデル地区にして、もう少し建物を建てやすくしてほしい。
- ・現況として農地ではない土地の取り扱いは、なんらかの条件を付け、緩和してはどうか。

委員長所感

○議会報告会当日の天候は雨であり、時間も夜分ということで心配ではあったが、11名が参加され有意義な意見交換が出来たと感じた。

○第1部に関しては、事業名が分かりにくいとの意見があり、事業内容を事前に資料として配布しておく必要があると感じた。

○第2部は、テーマに沿って意見交換が行われたが、地域性の問題や制度が地域に合致しているか、また制度の緩和等、その地域に合わせる制度を考えていかなければならないと感じる。

議会報告会の様子

